

2022年度「学生大使」派遣プログラム 単位認定外・通年派遣型【募集要項】

1. 目的

本学の海外拠点校（ベトナム国家農業大学）に一定期間、「学生大使」として滞在し、日本語を教えながら日本文化や山形大学を紹介すると同時に、相手国文化・実情を学びつつ、現地学生との交流を通して「グローバル人材」に必要な能力を習得する。

※新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、各国政府機関が入国規制を含めた様々な措置を講じており、その内容も刻々と変化しています。「学生大使」の派遣再開に当り、令和4年6月1日現在の各国水際対策措置を踏まえて、本学でも従来プログラムと異なる措置を講じますので、以下について十分理解した上で参加の申請をしてください。

2. プログラムの到達目標

- ①多様な価値観などに直に触れることにより、自らのそれらを対象化できるようになる。
- ②外国人とのコミュニケーション能力を向上させることができる。

3. 応募条件

- (1) 学部学生及び大学院生
- (2) 派遣期間中、健康面を含めた必要な自己管理ができること。
- (3) 事前説明会、帰国後の報告会等へ参加できること。
- (4) 本プログラムの情報発信に協力できること。
- (5) 厚生労働省がベトナムからの帰国者に求めている3回以上の新型コロナウイルスワクチン接種を終えていること。
- (6) 海外・異文化体験による意識の成長を測るアンケート調査（BEVI）を回答すること。

※留学生については、母国への派遣は認めない。

4. 派遣先大学と支援内容

渡航補助金として、下記金額を派遣学生へ支給する。渡航補助金は帰国後必要書類の受領を確認し支給する。

派遣先大学	支援内容
ベトナム国家農業大学（ベトナム）	渡航補助金 3万円

※₁ 現地との往復航空便を指定し、往路は担当教員が随行します。

※₂ 宿泊先及び現地空港からの送迎は、山形大学において、手配し、費用は各自が現地で支払うこととなります。

※₃ ただし、世界情勢による航空券代の高騰、外国からの帰国前72時間以内に日本政府が日本入国者に求めているPCR検査費用（約42,000円）の発生等の状況を見て、6万円まで渡航助成金を増額することがあります。

5. 派遣期間

2022年9月1日（木） ～ 2022年9月10日（土）

6. 申請方法と期限

以下の期限までに、申請書類をエンrollment・マネジメント部国際交流課又は所属する学部の学務担当へ提出すること。

【申請期限】

2022年6月14日（火） 17:00

【申請書類】

- ・ 申請書（別紙様式1）
- ・ 最新の成績確認表（※1年次の学生は不要）

※応募状況により、申請期限内であっても、募集を打ち切る場合がある。この場合、山形大学のホームページにて周知するので、随時確認をすること。

7. 選考基準と結果通知

国際交流担当副学長が以下の基準により選考し、所属学部長等宛に通知する。

- (1) グローバル社会をより深く理解する意欲のある者
- (2) 諸外国の大学生及び職員等と積極的に交流を図る意欲のある者
- (3) 本学のグローバル化促進に資する意欲のある者

8. 渡航前オリエンテーション

派遣決定後、オリエンテーションを行うので必ず出席すること。日程については、後日調整する。

9. 報告

派遣期間終了後1週間以内に「山形大学生海外派遣プログラム実施報告書」を記入の上、エンrollment・マネジメント部国際交流課に提出すること。

なお、この報告書は山形大学ホームページにて掲載し、次年度以降の派遣学生へ紹介する。

「山形大学生海外派遣プログラム実施報告書」記載事項

- ① 氏名・所属・学年
- ② 派遣先大学・派遣期間
- ③ 日本語教室での活動内容
- ④ 日本語教室以外での交流活動
- ⑤ 参加目標への達成度と努力した内容
- ⑥ プログラムに参加した感想
- ⑦ 今後の展望

※写真を2枚～4枚添付の上、Wordファイルにて作成し提出すること。

10. 渡航準備について

下記について、各自で準備するものとする。

(1) パスポート

パスポートについては、国ごとに必要有効残存期間が異なるので、自身で必ず事前に確認し、必要な準備をすること。

(2) 航空券

利用便と手配方法については、おって指示する。

(3) 海外旅行保険

必ず渡航日（住居から出発）から帰国日（住居に帰着）までの全期間を補償する「学生教育研究災害傷害保険付帯海外留学保険（付帯海外）」及び「危機管理システム J-TAS」への加入を必須とする（参考：2022 年の付帯海外は約 4,500 円、J-TAS は約 2,000 円）。

(4) 予防接種

厚生労働省検疫所ホームページや外務省海外安全ホームページ等を参考に、必要な予防接種を受けること。

(5) 外務省海外旅行登録（たびレジ）への登録

現地での危機管理情報の取得や緊急時の連絡のため、滞在先、滞在期間、渡航スケジュールが決定したら、外務省海外安全ホームページから、「たびレジ」に登録をすること。

(6) 海外渡航・留学届

海外渡航・留学届を所属学部等の学務担当に必ず提出すること。医、工、農学部の一年次生については、小白川キャンパス事務部運営支援課教育企画担当へ提出すること。

11. 注意事項

派遣の決定や日程調整に際し、エンrollment・マネジメント部国際交流課からメール又は電話により連絡する場合がありますので、連絡を受信できるように設定をしておくこと。

エンrollment・マネジメント部国際交流課からの連絡に回答のない場合は、危機管理に問題があるため申請を取り消すものとする。

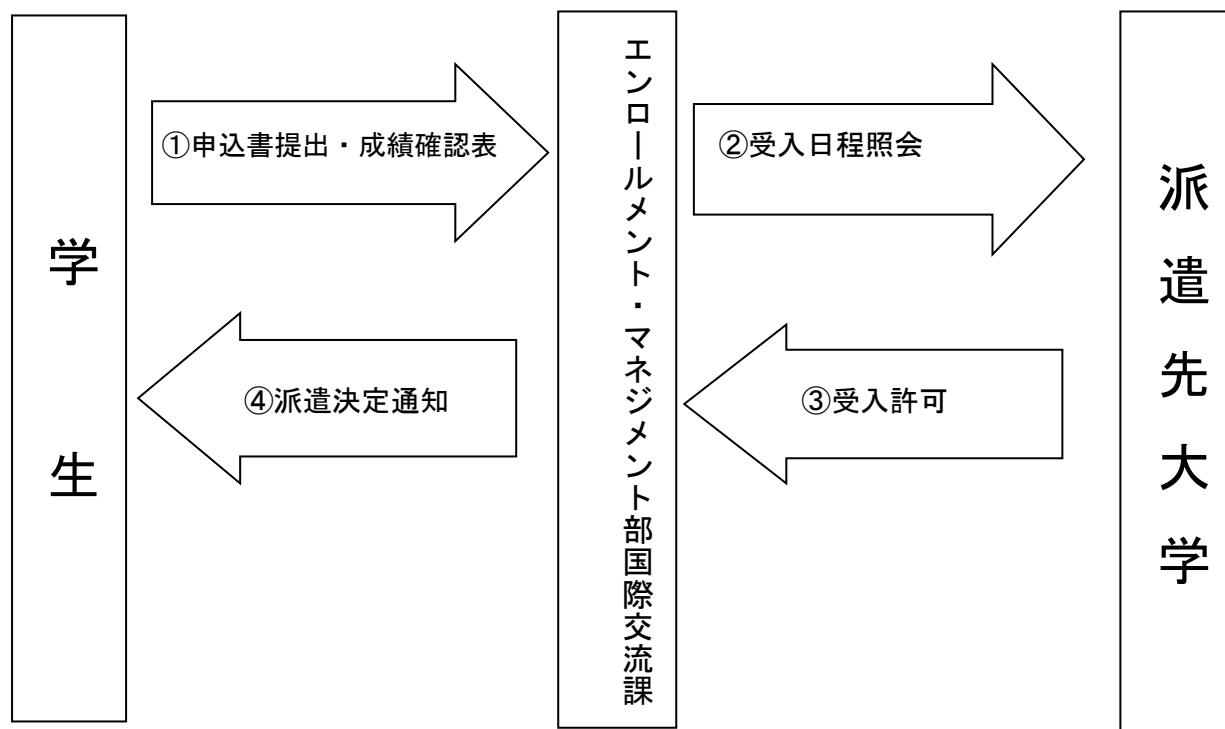
12. コロナ過関連で想定されること

(6月1日現在の各国政府の水際対策措置を前提)

帰国時 PCR 検査で陽性となった場合、陰性となるまで帰国便には乗れません。その際、航空券は自己負担で買い直しとなる可能性が高く、再 PCR 検査費用（約 42,000 円）、滞在延長費用も発生する。このうち、再 PCR 検査に伴う経費については、大学で 4 万円を支援します。

また、大学が事業中止の判断をした場合、支払った航空券代の一部または全額が返金されない可能性があります。その場合、領収書等の支払証明書があれば、6 万円を限度に、大学が損失を補填します。ただし、自己都合により渡航を取りやめた場合は損失補填を行いません。

13. 申込みから派遣までの主な流れ



13. その他

現地の情勢、状況の変化等により、希望した国及び期間の派遣ができない場合がある。

14. 問い合わせ先

エンrollment・マネジメント部国際交流課（法人本部1階）

TEL: 023-628-4926


FAX: 023-628-4849

E-mail: yu-rgkokusai@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

派遣先大学紹介

*ここに記載の金額は、2週間滞在した場合の平均であり、為替変動や渡航時期等によっても変化するものである。

*ビザ情報については、変更になる場合があるので、各国大使館HP等で最新の情報を確認すること。

大 学 名	<p>ベトナム国立農業大学</p> <p>Vietnam National University of Agriculture 通称 VNUA</p> 
国 名	ベトナム社会主義国
都 市	ハノイ
公 用 語	ベトナム語
ビザ情報	<p>15日以内の滞在であればビザ不要、パスポートの残存期限6ヶ月以上。(前回のベトナム出国から30日以上経過している場合)</p> <p>16日以上滞在の場合または30日以内に2回入国する場合は必要となる</p>
宿泊施設	大学構内の国際学生寮またはゲストハウス
費用の目安	<p>航空券：13万円～20万円(帰国時PCR検査陽性の場合は買い直し)</p> <p>送迎費：4千円～6千円</p> <p>宿泊費：8千円～1.3万円(部屋のタイプによる)</p> <p>滞在費：1.5万円～4.5万円(上記の費用を除く食費・交遊費など)</p> <p>帰国時PCR検査代：4.2万円/回</p>
治安・衛生等の現地状況	<p>治安状況：人の多い観光地や混雑するバスの車内などでは、ひったくり・スリ・置き引きが頻発している。</p> <p>シクロやバイクタクシーを利用し運転手から高額請求をされたという例が多く報告されている。</p> <p>衛生状況：現在、深刻な感染症等の流行は報告されていない。6月～11月は雨季となり高温多湿となるため、食品の保存や体調管理(虫刺され対策等)にも注意が必要。</p> <p>交通事情：自動車やバイクが通行区分や規制を無視して道路に溢れている状況のため、非常に危険。道路を横断する際は、現地の学生と共に行動すること。</p>
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から山形大学生および職員を派遣している。 ・本部前の池のほとりに、山形大学の記念樹が植えられている。 ・物価が安く、食事代は1食80円～300円程度。
先輩からのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナムに行って本当に良かったと思います。何よりベトナムで会ったみんなと楽しく3週間を過ごせたことが良かったです。迷っているなら、是非参加してほしいです! ・オシャレなカフェもあり、ベトナム人学生の友達とよく行きました。今回で2回目となりますが、プライベートでも行きたいと思うくらいとても好きな国となりました。